

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

昨年末、政権交代が確定したところから、株価の上昇、円安の是正が急速に進み、先日の G20 外相会議でも、日本の政策が表立って非難されることがなかったことから、当面の日本の方向性が見通せるような状況となった。政治により、世の中がこれほど変わるのだということが実感され、恐ろしい気さえする。医療の世界でも同様である。医療は営利を目的としてはならないはずなのに、近年の病院の会議では、経営のことばかりが取り上げられる。しかし、いくら努力しても、政治が変わると経営状況は一夜にしていかようにも激変してしまう。医療従事者、特に医師は、病院経営のことを考えずに、最善の医療を提供することに専念したいものである。理想と現実のギャップはあまりに大きいということだろうが、それで済ませていいのだろうか。

本号の「扉」で取り上げられた脳死判定の問題も、移植医療との兼ね合いで、政治に大きく左右されてきた。件数は多くはないものの、移植医療は日本でも、国民心理としてようやく定着したかと思える時代になったが、日本初の心臓移植から臓器移植法の成立まで 30 年近くを要したことは、国民感情に大きく影響され過ぎる、日本の政治の構造上の問題があったのではなかろうか。本号にも興味ある多くの論文が掲載され、中には椎骨動脈解離に関する 2 編の論文がある。同じ脳卒中であっても、椎骨動脈解離は、脳動脈瘤破裂と異なり、病態、自然経過が複雑であり、個々の症例においてどのような治療が適切であるかの判断は必ずしも容易ではない。医療、医学の発展のためには、このような症例が正確に解析され、知識として蓄積され、適時にそれらを解析していくという、地道な努力が必要である。連載されている「合併症のシステマティックレビュー」は、執筆者には大変な労力を余儀なくさせているが、最善の医療を提供するために欠かすことのできない情報を与えてくれている。もう 1 つの連載の「脳神経血管内治療に必要知識」であるが、脳神経外科医にとって、今や血管内治療は、手術と同等の価値のある治療手段となったことを、明白に示している。

政治に翻弄されつつも、脳神経外科医は、厳しい境遇の中で、医学の発展のため、日々研鑽を積み続ける使命がある。

Neurological Surgery 脳神経外科

(第 41 巻第 4 号)

2013 年 4 月 10 日発行 (毎月 1 回 10 日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

[2013 年 年間購読料 (税込、送料弊社負担)]
冊子版 / 通常 32,760 円、冊子版 / 個人特別割引 30,030 円、冊子 +
電子版 / 個人特別割引 35,030 円、冊子 + 電子版 / 共有 42,700 円、
電子版 / 個人特別割引 30,030 円、電子版 / 共有 37,700 円

E-mail : noge@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID : noge パスワード : noge

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株)医学書院が保有します。
• 本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

• JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。